

ヨハネ 9・黙想質問

「どうしてこの人は、生まれつき目が見えないのですか。」ヨハネ 9:1-5

¹さて、道を歩いていた時のこと、イエスは生まれつきの盲人をごらんになりました。²そこで、弟子たちが尋ねました。「先生。どうしてこの人は、生まれつき目が見えないのですか。本人が罪を犯したからですか。それとも両親ですか。」³「いや、そのどちらでもありません。ただ神の力が現されるためです。」

弟子たちはこの人の病気についてどのような想定をしていたと思いますか。イエスの見方はどのように違っていたのでしょうか。

⁴わたしたちは、わたしをお遣わしになった方に命じられた仕事を、急いでやり遂げなければなりません。もうすぐ夜が来ます。そうしたら、もう仕事はできないのですから。⁵しかし、まだこの世にわたしがいる間は、わたしが光となります。

「私を遣わした方の業」とは何だったのでしょうか。

神様があなたを通してなされたいと願っておられる業とは何でしょうか。

イエスは盲人の病を癒やした。ヨハネに 9:6-11

⁶こう言われると、イエスは地面につばをして泥を作り、それを盲人の目に塗って、⁷言われました。「さあ、シロアムの池に行って洗い落としなさい」〔「シロアム」とは、「遣わされた者」の意味〕。イエスが言われたとおりにすると、どうでしょう。彼は見えるようになって戻って来たではありませんか。

⁸近所の人や、彼が盲目の物ごいだったことを知っている人は仰天し、「これが、あの人かい」と口をそろえて言いました。⁹ほかの人は、「そうだ」と言う人もいれば、「いや、あいつのはずはない。だが実によく似ている」と言う人もいました。すると当の本人が、「何を言っているんだ。おれだよ」と言いました。¹⁰人々はあっけにとられながらも、「いったいどうしたのだ。どうやって見えるようになったのか」と矢つぎばやに尋ねました。¹¹その男は答えました。「イエスという方が泥をこねて目に塗り、『シロアムの池に行って、泥を洗い落としなさい』と言われたのさ。それでそのとおりにすると、見えるようになったんだよ。」

なぜイエスは、唾を吐いて泥を作り、盲人の目を見えるようにしたのだと思いますか。

パリサイ人たちはその男を尋問する。ヨハネ 9:13-23

¹²「その人は今どこにいるんだ。」「さあ、知らないな。」¹³人々は、男をパリサイ人たちのところへ連れて行きました。¹⁴ところで、この日は安息日でした。¹⁵パリサイ人たちにどうして目が見えるようになったのかを尋ねられて、男はそのいきさつを、くわしく話しました。

¹⁶パリサイ人のある者は、「そのイエスという者は、神から遣わされた者ではない。安息日に仕事なんかしたんだから」と断言しました。しかし、「罪人にすぎない普通の人間に、こんな奇跡が行えるだろうか……」と疑問を投げかける者もいます。意見は真っ二つに分かれました。¹⁷しかたなく、その盲目だった男に、「おまえの目を開けてくれた人のことをどう思うか」と聞きました。「きっと神様が遣わした預言者です」と男は答えました。

¹⁸しかし、ユダヤ人の指導者たちは、盲目だった男が見えるようになったことを、どうしても信じようとはしません。とうとう両親まで呼び出し、¹⁹確かめることにしました。「この男は息子だな。ほんとうに生まれつき目が見えなかったのか。だったら、どうして見えるようになったのだ。」

²⁰両親は答えました。「はい、確かに息子でございます。この子は生まれつき目が見えませんでした。²¹けれども、どうして見えるようになったのか、どなたがこれの目を開けてくださったのかは、少しも存じません。どうぞ本人からじかに聞いてみてください。もう一人前の大人ですから、自分で説明できるでしょう。」²²⁻²³こう言ったのは、ユダヤ人の指導者たちがこわかったからです。指導者たちはすでに、イエスをキリストと告白する者は、だれかれの区別なく会堂から追放すると公表していたのです。

パリサイ人が盲人とその両親を尋問した真の動機は何だったと思いますか。

パリサイ人たちは、その男を再び尋問した。ヨハネ 9:24-34

²⁴指導者たちは、男をもう一度呼び寄せ、きつく言い渡しました。「イエスなどではなく、神をあがめなさい。あいつは悪党だ。」²⁵「さあ、あの方が善人か悪人かは、私にはわかりません。ただ、これだけははっきりしています。私は今まで目が見えなかったのに、今は見えることです。」

²⁶「だが、あいつは何をした？ どうやっておまえの目を開けた？」²⁷男はまたかと腹を立て、大声で言いました。「そのことは、もう話したではありませんか。お聞きにならなかったのですか。もう一度言えとは、どういうことでしょう。あの方の弟子にでもなりたいのですか。」

²⁸こう言われて、指導者たちは男をのしりました。「おまえこそあいつの弟子のくせに。われわれはモーセの弟子だ。²⁹神はまちがいなくモーセにお語りになった。しかし、あいつはどここの馬の骨だかわからない。」

³⁰「これは驚きました。あの方は盲人の目を開けることができるんですよ。なのに、あの方のことは何も知らないとおっしゃる。³¹神様は悪人の言うことはお聞きになりません。しかし、神様を礼拝し、お心にかなうことを行う者には、耳を傾けてくださるんじゃないありませんか。³²世の初めからこのかた、生まれつきの盲人の目を開けた人など、いたためしがありません。³³神様から遣わされた方でなければ、こんなことはできないはずです。」³⁴こうまで言われて、彼らは怒りを爆発させました。「このろくでなしめ！ われわれを教えようというのか！」とどなりつけたあげく、男を外に追い出してしまいました。

パリサイ人の質問に対する盲人の反応から、盲人をどのように表現しますか。

彼の答えは、どのようにしてパリサイ派の人々の論拠を論理的に打ち負かしたのでしょうか。

盲人は見えますが、パリサイ人たちは盲人です。 ヨハネ 9:35-41

³⁵ そのいきさつを伝え聞いたイエスは、男を捜し、見つけ出されると、「あなたはメシヤを信じますか」とお聞きになりました。³⁶ 「先生。どなたがメシヤ様なのでしょうか。教えてください。ぜひ信じたいのです。」³⁷ 「もうその人に会っているのですよ。あなたと話しているわたしがメシヤなのです。」³⁸ 「主よ。信じます。」男はそう言って、イエスを礼拝しました。

イエスが癒した人の中には、イエスを信じていなかった人もいました（ヨハネによる福音書 5 章 1-15 節で癒された男のように）。この男がイエスを信じた理由は何だと思えますか

³⁹ するとイエスは言われました。「わたしがこの世に来たのは、心の目の見えない人を見えるようにするため、また、見えると思込んでいる人に、実は盲目だということをわからせるためなのです。」⁴⁰ ちょうどその場に居合わせたパリサイ人たちが、げげんな顔で尋ねました。「じゃあ、私達も盲目だと言うのか。」⁴¹ 「もしあなたがたが盲目だったら、罪に問われないですんだでしょう。しかし、何もかもわかっているとあくまで言いはるので、あなたがたの罪はそのまま残るのです。」

イエスが 39-41 節で語っている「盲目」とはどのようなものですか。パリサイ人の核心的な問題は何だったのでしょうか。